

# がん経験者の立場から

第3回 バイオバンク オープンフォーラム「バイオバンクと参加」

2022年9月13日  
読売新聞東京本社医療部  
編集委員 本田麻由美

# 34歳で“乳がん患者”に



2002年5月 乳がん告知  
6月 乳房温存手術  
7月 乳房全摘手術  
11月 局所再発手術

抗がん剤治療、放射線治療、ホルモ  
ン療法など、仕事をしながら  
約10年間の治療を続け、  
2012年8月 治療終了



# 治療は10年続いた

- 2002年2月 乳房に違和感→受診・検査の結果「乳腺症」?
- **2002年5月** 塊に気付く→**乳がん告知**、既にⅡ期
- 6月 乳房温存手術
- 7月 乳房全摘手術（同時再建断念）
- 8～10月 抗がん剤治療
- 11月 **局所再発発見** → 3度目の手術
- 12月 放射線治療
- 03年1月 抗がん剤治療
- 4月 卵巣がん疑惑が浮上
- 10月 ホルモン治療開始
- 04年10月 乳房再建手術→06年人工乳房入替手術
- 08年10月 「立派なうつですよ」と診断 → 3か月の休職も
- **2012年8月** **治療終了**
- 2016年4月 被膜拘縮のため乳房再建再手術
- **2022年6月** **術後20年** 「成人式だね」



↑  
…したはず  
↓  
この頃に「血液」提供

# バイオバンクへの参加について

## ➤ 10年以上前の私の経験

- 乳がん治療を受けていた病院以外で、何かの関連診療で「採血」
- 「検査で余った血液を〇〇の研究のため保管、使用していいですか」
- 1～2枚の紙をもらい、簡単な説明も受けた気がする

➡ がん患者である私は「何か治療法開発に役立つなら」と思った  
ただ、紙はなくした。何の研究か覚えていない。リターンもない

## ➤ 「今」なら、どうだろうか？

- 利用の目的など具体的で分かりやすい説明と資料があれば・・・
- 研究の意義を理解し、重要性を感じられたら・・・
- 究極の個人情報でもあるので、不利益に結びつかないなら・・・

➡ 「参加してもいい」と思うだろう。  
その研究の成果が、ずっと先だけでなく、私にも役立つなら、なおよい  
ただし、不利益に結びつかないなら

※でも、具体的には？

# 「バイオバンクへの参加」で考えたいこと

## ➤ 研究成果が私にも役立つなら...

- バイオバンクの解析で分かった情報を、本人に返せばいい！  
=「その人に役立つと考えられる情報」をリターンする  
↳ 臨床的に意味があり、対処法(治療法)がある  
例.「遺伝性乳がんの遺伝子を持っていることが分かった」

➡ では、「今は対処法(治療法)がない情報」はどう考えるか？  
後に研究が進み、対処法(治療法)ができたら？意味が変わったら？

## ➤ 不利益に結びつかないなら...

- 遺伝情報の説明やフォローの体制は十分か？  
例の場合、子どもへの影響、兄弟姉妹への影響。全ゲノム解析が簡単になり、思ってもいなかったことが分かってしまうケースもある
- 情報流出があった際、第三者に悪用されないか

➡ 流出を防ぐ仕組みも大事だが、流出した場合に悪用した者への罰則を設けることも必要

# 例えば、「数字」を受け止める難しさ 私の場合

がん告知の診察室で

(因みに私の主治医は男性でした)

えっ！  
2～3割は死ぬ  
ってこと！



あなたの場合、検査  
結果から、きちんと  
治療したら、7～8割  
は治ると言えると思  
います。一緒に頑張  
りましょう

正しく伝える  $\neq$  正しく伝わる





ご静聴ありがとうございました